

# 目次

第Ⅰ部	基礎知識	1
第1章	プラネタリーヘルスへの誘い	3
	本書の構成	8
	一般的なテーマ	8
第2章	プラネタリーヘルスの成り立ち —— 未来へと続く歴史	17
	プラネタリー思考, システム生態学, 環境衛生	21
	核オプション —— 究極の選択	27
	プラネタリーヘルスの枠組みづくり	29
	結論	31
第3章	人口, 消費, 公平性, 権利	37
	推進要因	38
	政策	47
	結論 —— 人口と消費との一体化	64
第4章	変わりゆく地球	69
	気候変動	69
	生物地球化学的循環	73
	土地利用と土地被覆の変化	76
	耕地と土壌	82
	水不足	86
	生物多様性の損失	90
	汚染	93
第Ⅱ部	プラネタリーヘルスと健康	105
第5章	急速に変化する地球の食料と栄養	107
	栄養	108
	食料生産が自然システムに与える影響	110
	自然システムの変化が食料生産と栄養に与える影響	111
	3つの課題を達成するために	120

	フードシステムの転換——生産、廃棄、消費	121
	結 論	130
<b>第6章</b>	<b>プラネタリーヘルスと感染症</b>	135
	気候変動	138
	生物多様性の損失	142
	土地利用と土地被覆の変化	146
	汚染と生物地球化学的循環の変化	149
	政策および管理との関わり	152
	結 論	153
<b>第7章</b>	<b>地球環境の変化と非感染症のリスク</b>	159
	地球の変化による非感染症への影響	161
	結 論	172
<b>第8章</b>	<b>環境変化、移住、紛争、健康</b>	183
	環境変化、移住、紛争——過去と現代の事例	183
	環境変化、移住、紛争——中心となる概念	187
	環境変化と紛争	196
	移住と紛争の関係	199
	移住と紛争が健康に及ぼす影響	200
	解決策	205
<b>第9章</b>	<b>変化する地球上でのメンタルヘルス</b>	213
	個々の環境事象	214
	周囲の環境条件	216
	人間と地球との関係の侵害——メンタルヘルスへの影響	222
	不公平	225
	人新世におけるメンタルヘルス——人と地球の良好な関係を目指して	228
	結 論	230
<b>第10章</b>	<b>気候変動と人間の健康</b>	237
	気温変化による影響	239
	悪天候と災害	240
	大気質	241
	アレルギー	242
	感染症	242
	栄養素	243

	人口移動	244
	紛争	244
	メンタルヘルスへの影響	245
	予期せぬ影響	245
	結論	245
<b>第11章</b>	<b>より健康な地球における幸福</b>	253
	幸福の定義と測定	254
	幸福とプラネタリーヘルス	258
	結論	270
<b>第Ⅲ部</b>	<b>脅威からチャンスへと軌道修正するために</b>	275
<b>第12章</b>	<b>エネルギーとプラネタリーヘルス</b>	277
	クリーンエネルギーの利用をすべての人に	280
	エネルギーが健康に与える影響	281
	エネルギー源ごとの気候への影響	288
	新たな課題	302
	エネルギー効率と省エネルギー	303
	プラネタリーヘルスを実現するエネルギーを目指して	304
<b>第13章</b>	<b>都市空間とプラネタリーヘルス</b>	315
	都市空間と地球の未来	316
	都市空間が自然生態系へ及ぼす影響	317
	環境変化が都市部へ及ぼす影響	319
	都市空間と健康	321
	都市のイメージチェンジ——プラネタリーヘルス促進の機会	323
	都市空間におけるプラネタリーヘルスのアプローチ推進の試み	332
	結論	336
<b>第14章</b>	<b>有害物質への暴露を抑制する</b>	347
	プラネタリーヘルス問題としての化学物質汚染	348
	なぜ有害化学物質がプラネタリーヘルスの大きな脅威となるのか	356
	プラネタリーヘルスの観点からの化学物質へのアプローチ	
	——新しい政策, 新しい枠組み	362
	化学物質試験の根本的に新しい枠組みの必要性	365
	グリーンケミストリー(地球に優しい化学)——期待と課題	366

<b>第15章</b>	<b>プラネタリーヘルスのための新しい経済学</b> .....	375
	経済の姿は一変した——新しいルールが必要だ	375
	プラネタリーヘルスに向けての成功度を測るより優れた尺度	386
	プラネタリーヘルスに多様な経済思想を利用する	391
	人と地球の関係を概念化する	395
	結 論	412
<b>第16章</b>	<b>プラネタリーヘルス・ビジネス</b>	
	—— 経済理論から政策および実践まで .....	415
	より良い経済理論の活用でより良い成果をあげる	415
	プラネタリーヘルスのためのガバナンスと政策	415
	プラネタリーヘルスに向けたビジネスソリューション	421
	ケーススタディ	
	—— プラネタリーヘルス実現のための既存ビジネスモデルの変革	432
	例：プラネタリーヘルスを実現するための新しいビジネスモデルの開発	436
	結 論	438
<b>第IV部</b>	<b>地球を守り、人類を救う</b> .....	441
<b>第17章</b>	<b>プラネタリーヘルスの倫理学</b> .....	443
	プラネタリーヘルスの倫理学の基礎	446
	プラネタリーヘルスの倫理的立場	447
	結 論	456
<b>第18章</b>	<b>プラネタリーヘルスの明るい未来</b> .....	463
	あるべき姿へ	465
	現在地から目的地へ	468
	あとがき—— コロナウイルスとプラネタリーヘルス	475
	むすびにかえて	485
	索 引	487

## Box一覧

- 3.1 何のための家族計画か? 57
- 3.2 家族計画のケーススタディ —— パキスタンとバングラデシュ 58
- 3.3 人口・健康・環境面からの総合的アプローチによるレジリエンスの構築 61
- 4.1 水の取水量, 消費的利用と非消費的利用 89
- 5.1 あらゆる形の栄養不良 109
- 5.2 二酸化炭素の排出が食べ物を不健康にする仕組み 116
- 6.1 用語と定義 136
- 8.1 強いられた移住に関する用語 191
- 8.2 紛争に関する用語 196
- 8.3 難民キャンプの女性と子どもの健康 202
- 11.1 ウェルビーイングの総合指標に対する主観的な自己評価の6つの概念的優位性 257
- 12.1 補助金から社会的投資へと転換するインド —— 保健的な介入として 285
- 12.2 石油・ガス開発における環境衛生に関する側面 292
- 14.1 市販前評価がほとんどまたはまったく行われることなく, 商業と環境に導入されている化学物質の最近の事例 360
- 14.2 グリーンケミストリーの12原則 367
- 18.1 世界を救う10の方法 465